食欲の秋！　果物、野菜、きのこがいっぱい 木津で「秋の味覚まつり」

10月５日、ＪＡ亀田郷みなみ木津倉庫前で、木津舞茸愛好会主催、町・ＪＡ亀田郷みなみ・木津地域公民館の後援により秋の味覚まつりが開催され、町内だけでなく、新潟市や新津市などの町外からも多くの人たちが訪れました。

まちおこしと地元で生産されたものに多くの人たちに親しんでもらいたいと始められたこの祭りは、今回で８回目。

梨やぶどう、まいたけ、えのき、新米コシヒカリ、長いも、だいこん、ねぎ、豚肉、パン、手作りの漬け物、五目おこわ、花、新品種のチューリップの球根などが店頭に所狭しと並び、安くて新鮮とあって、販売開始と同時に次々と売れていきました。

また、キャベツや梨などの農産物を手に持って重さを当てるクイズ、ポップコーンコーナーなどのほか、きのこ、野菜や肉などがたくさん入ったきのこ汁が500人分作られ、来場者は秋の味覚を満喫していました。

安全でおいしい地元産の梨を知ってもらおうと 二本木の梨の実館で「梨の実祭り」

10月19日、新潟地区梨振興協議会の主催により、「梨の実祭り」が新潟地区なし広域選果施設「梨の実館」で開催されました。

新潟地区では、生産者一人ひとりが安全・安心の梨作りを心がけて生産しており、消費者との交流の場を設けて、地元産のおいしく安全な梨を広く知ってもらおうと昨年から開催し、今回は２回目となります。

今が旬で、大玉で糖度が高く、香りも強いのが特徴の新高梨が、市場よりも安く販売されたほか、梨畑での梨もぎ体験が行われたり、新高梨の重さを競うデカ玉選手権では、1,870gの梨が優勝、梨の皮むき大会では303cmの名人も現れました。また、横越・亀田・新潟地区でとれた大根や白菜、柿、豚肉、乳製品、新米、きのこなどの販売、もちつき大会、梨入りの豚汁無料サービスなども行われ、多くの人たちで賑わいました。

秋晴れの下、秋の味覚を満喫 沢海で「たもぎの里味覚まつり」

10月19日、横越町観光特産品販売組合「たもぎの里」で、恒例の味覚まつりが開催され、天候にも恵まれ、多くの人たちが町内外から訪れました。毎年この時期に開催されているまつりは、今回で７回目を数えました。

たもぎの里の各店舗では、長いも、里いも、ごぼう、かぶなどの新鮮な野菜、梨や阿賀野川で獲れた川ガニなど、旬の品々、この日限りのサービス品が数多く並びました。わたあめやつきたての餅の無料サービス、パンの袋詰め販売、フリーマーケットといったいろいろな催しも開催され、カニ釣りには多くの子どもたちが集まってチャレンジ。カニが釣れたり落ちたりすると、子どもも周囲の大人たちも大きな歓声を上げていました。

また、その日の朝に阿賀野川で捕れたばかりの鮭５ひき分が入った鮭汁が100人分用意され、来場者たちはあつあつでおいしい鮭汁に舌鼓を打っていました。

新潟県伝統的工芸品展

県内には経済産業大臣指定の伝統的工芸品11産地14品目があり、これらの伝統的工芸品を一堂に集めて展示します。お箸作りや布織り、藍染め、蒔絵、竹とんぼ作りなどに挑戦できる体験コーナー、匠の技を見ることのできる実演コーナーがあります。また、会場でアンケートにご回答下さった方の中から、抽選で産地から伝統的工芸品のプレゼントもあります。

●**新潟県伝統的工芸品14品目**　塩沢紬、本塩沢、小千谷紬、小千谷縮、十日町絣、十日町明石ちぢみ、新潟・白根仏壇、三条仏壇、長岡仏壇、村上木彫堆朱、加茂桐箪笥、燕鎚起銅器、越後与板打刃物、新潟漆器

●**日時**　11月21日㈮～23日㈰　午前10時～午後６時（最終日のみ５時まで）

●**会場**　NEXT21ビル６階　新潟市民プラザ

●**問い合わせ**　県産業振興課　☎280－5243

ちぎり絵講習会

◆**会　場**　中央公民館　２階学習室

◆**期　日**　12月６日㈯　午後１時～４時

◆**内　容**　色紙に干支の作成

◆**講　師**　五十嵐鈴子先生

◆**参加費**　無料。ただし、材料費は２,500円（新装軸つき）

◆**申込先**　11月20日㈭までにお申し込み下さい。中村啓子（☎385－3682）

◆**定　員**　20名

◆**持ち物**　はさみ、おしぼり、鉛筆、材料費

広域情報ネットワーク

＜新津市＞　里山ふれあいシンポジウム

■**テーマ**　都市と森の共生を目指して

■**日　時**　11月22日㈯　午後１時～

■**会　場**　新津市美術館（新津市蒲ケ沢109－1）

■**内　容**　13:00～13:15　開会あいさつ
13:15～14:00　基調講演…新潟市長　篠田昭
14:00～14:20　休憩　アトラクション（合唱）
14:20～16:00　パネルディスカッション
パネリスト…篠田昭（新潟市長）、湯田幸永（新津市長）、石沢進（積雪地域植物研究所所長）、小林正吾（にいがた森林の仲間の会会長）、コーディネーター…松山雄二（新潟県立植物園園長）

■**参加費**　無料　　◆**定員**　300人（申し込み順）

■**申込・問い合わせ**　新津市文化振興財団　☎0250－25－1301

＜味方村＞　大庄屋　笹川邸

笹川邸は、江戸時代に旧村上藩の大庄屋を務め、味方組８か村を支配していた笹川氏の旧屋敷です。1649年から明治維新までの約200年間、笹川氏が９代にわたって大庄屋を世襲、維新後も大地主として君臨し、治水事業に取り組みました。

屋敷は1826年の建築ですが、表門と庭園の石灯籠は、1570年頃のものと推定。昭和24年４月、笹川邸は国の重要文化財に指定されました。当時の大庄屋の姿をありのままに残し、支配者と支配者を支えた農民たちの生活を伝えています。

■**場　所**　味方村大字味方216番地

■**開館時間**　午前９時～午後４時

■**休館日**　月曜日（祝日を除く）、年末年始

■**観覧料**　大人500円、子ども300円（20名以上の団体割引あり）

■**問い合わせ**　味方村観光協会　☎373－6133

俳句（公募作品）

句題　柿（かき）　鹿（しか）　夜長（よなが）

尼寺の軒に五連の吊し柿　東　町　細山芳洲子
奈良の旅句帳にふやす鹿の文字　二本木　小林　竹生
春日野の鹿と戯れ旅終る　二本木　今井　峰雪
過疎の里柿の実うれて鳥の群れ　川根町　菊地　隆夫
旅の宿漁り火遙か闇夜長　川根町　菊地　栄子
スリラーで犯人探す夜長かな　川根町　本間　蒼
山畑にもぎ忘れたる残り柿　川根町　佐久間正岳
てっぺんの熟柿は鳥に残しけり　木　津　坪谷　耕雨
寝てひねる夜長や町の公募の句　中　央　神田　斗子
長き夜虫きらい妻虫つまみ　木　津　石井　楽秋
白壁の千の影置く吊し柿　東　町　市村横雲子
長き夜は行燈油少し増す　川根町　高橋　惣衛
長き夜の更け晩学のペン重し　中　央　谷井野武士
柿の木の葉を平らげて虫の宿　木　津　今井　清水
竿先を葉かげの柿に近づける　二本木　小林千恵子
鹿も入れ妻と二人の旅写す　木　津　笠原　茶山
夕映えの紅重ねつつ柿熟るる　二本木　中川　照月
鹿鳴くを独り聞きけり奈良の宿　二本木　藤崎　春月
山裾の日暮れともして柿明かり　二本木　村木緋佐子
柿はみな色づき庭に小鳥殖ゆ　木　津　つぼやまさひ子
老眼鏡ふいて夜長の書を開く　木　津　今井　夫子
修学の生徒あふれて鹿の奈良　木　津　宇野　水夢
出来不出来書いて夜長の空白らむ　二本木　渋谷　実生
平凡に恙ない日々柿熟れる　東　町　高橋　鴉子
空澄みて遠くに鹿の泣く声のして　川根町　滝沢　エツ
児と遊ぶ昔オモチャの夜長かな　二本木　藤崎　道子
長き夜の酔寝の夫に時計鳴る　川根町　神田　恵子